

大板部島

近くても行くのはちょっと難しい

赤島と黄島の間にあるなだらかな小島は、赤島と黄島それぞれと共通する特徴を持っており、地質学的また考古学的に興味深い場所を有しています。この島は、赤島と同様に玄武岩の堆積物に囲まれています。また、黄島と同様に溶岩トンネルがあり、島の東部の大きなトンネルに加え、北岸にも海につながっているトンネルがあります。東部の大きなトンネルは入り口の傾斜がかなり急で、トンネル内に降りるにはロープを使う必要があります。しかし、トンネルの壁面は輝く黄鉄鉱で覆われており、探検に必要なスキルを持ち合わせているなら見に行く価値があります。

トンネル上部の洞窟内では、黒曜石の道具と人間の骨が発見されており、このことは縄文時代（紀元前 10,000-紀元前 300 年）に既に人間がこの小さな島に住んでいたことを証明しています。洞窟内のかつて池があった場所では、ジュゴンの骨を含む貝塚が発見されました。大板部島を訪れるには特別な許可が必要です。また、この島は子ども向けの行楽地ではありません。